

# 事業概要

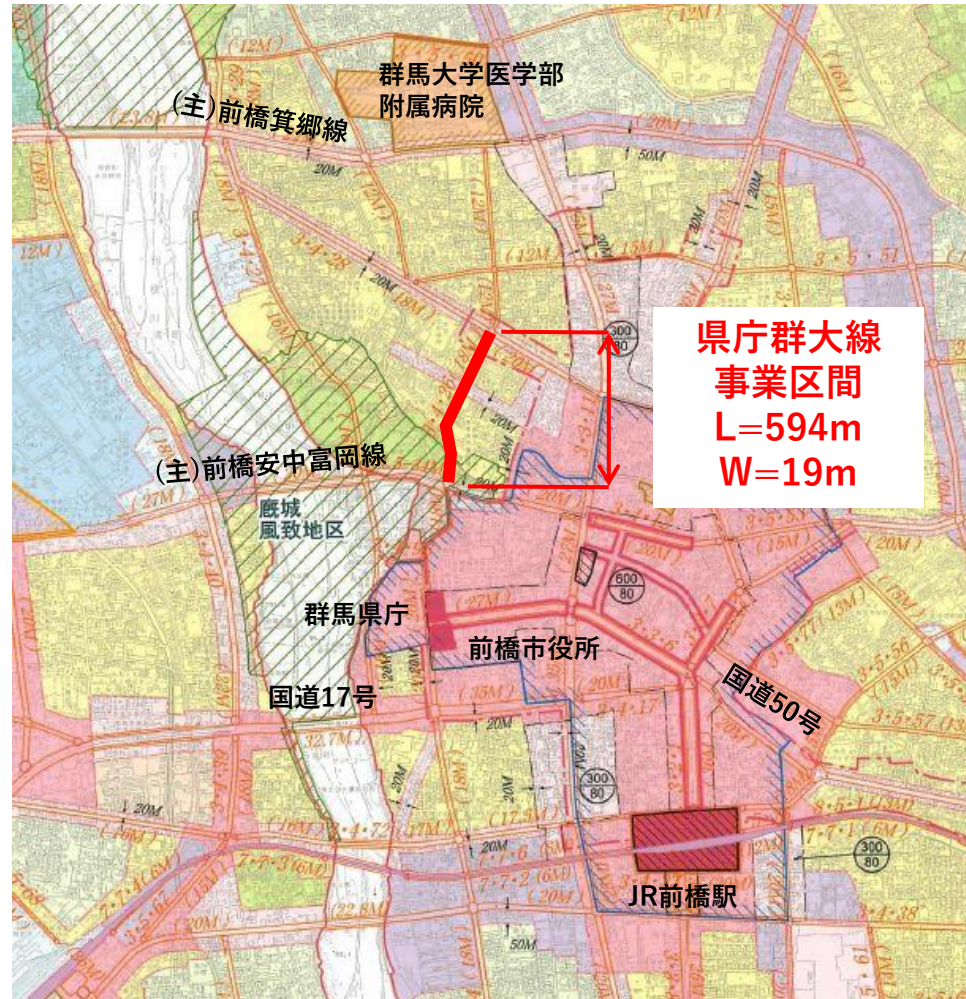
(群馬県：(都)県庁郡大線)

応募No.	7		
事業主体	前橋市	事業箇所	群馬県前橋市大手町三丁目 ほか2か町地内
応募者名	前橋市		
ふりがな 事業名称	としけいかくどうろ けんちょうぐんだいせんせいびじぎょう 都市計画道路 県庁群大線整備事業		
事業概要 (400字以内)	<p>本事業は、群馬県庁と主要地方道前橋箕郷線を結ぶ都市計画道路県庁群大線のうち、主要地方道前橋安中富岡線から北側約600m区間を整備する事業であり、通学路の安全確保と道路ネットワークの強化を主な目的として平成8年に事業認可を取得し、両側歩道整備や無電柱化等を含む道路改良を実施したものである。</p> <p>事業箇所は既成住宅地域内の非常に狭隘な道路であり、近隣小学校などの通学路となっていたが歩道が無く危険な状況であった。そのため、本事業による通学路整備を行うことで児童をはじめ歩行者・自転車の安全を確保することができた。</p> <p>本路線の特徴としては沿線に前橋公園や臨江閣など歴史的施設が存在している他、前橋市の代表的な河川である広瀬川を横断していることがあげられる。事業に伴い大正時代に造られた橋梁などの再整備が必要となったが、当時の意匠をできる限り踏襲することで歴史的景観を継続させ、地域に愛され続ける道路整備を心がけた。</p>		
事業規模	事業延長(km)	約0.6km	
	幅員(m)	約19.0m	
	事業期間(和暦)	平成8年～令和4年	
	事業費(億円)	約33億円	
受賞歴	有・無	令和4年度 全建賞(インフラの部)受賞「都市計画道路県庁群大線 石川橋架替工事」	
URL			

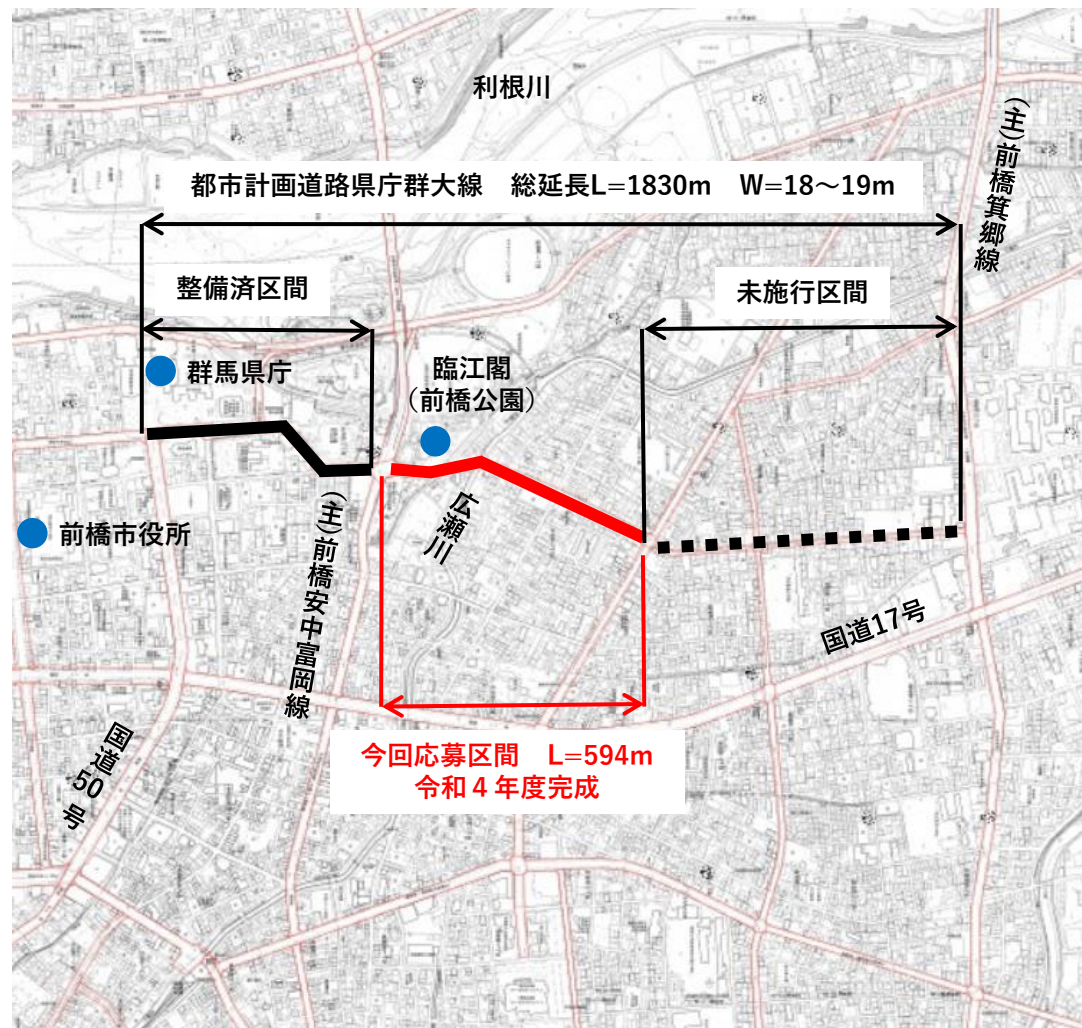
# 事業位置図



# 都市計画図(用途地域図)



## 路線全体の進捗状況

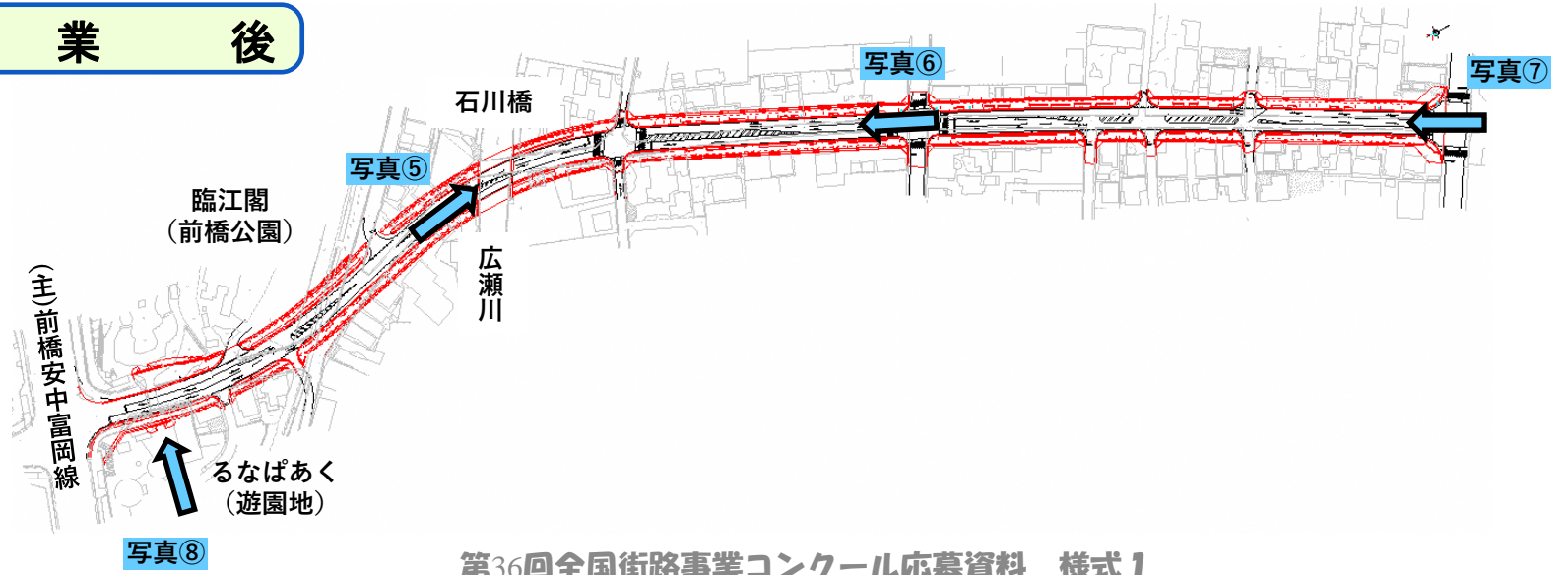


# 平面図

## 事業前

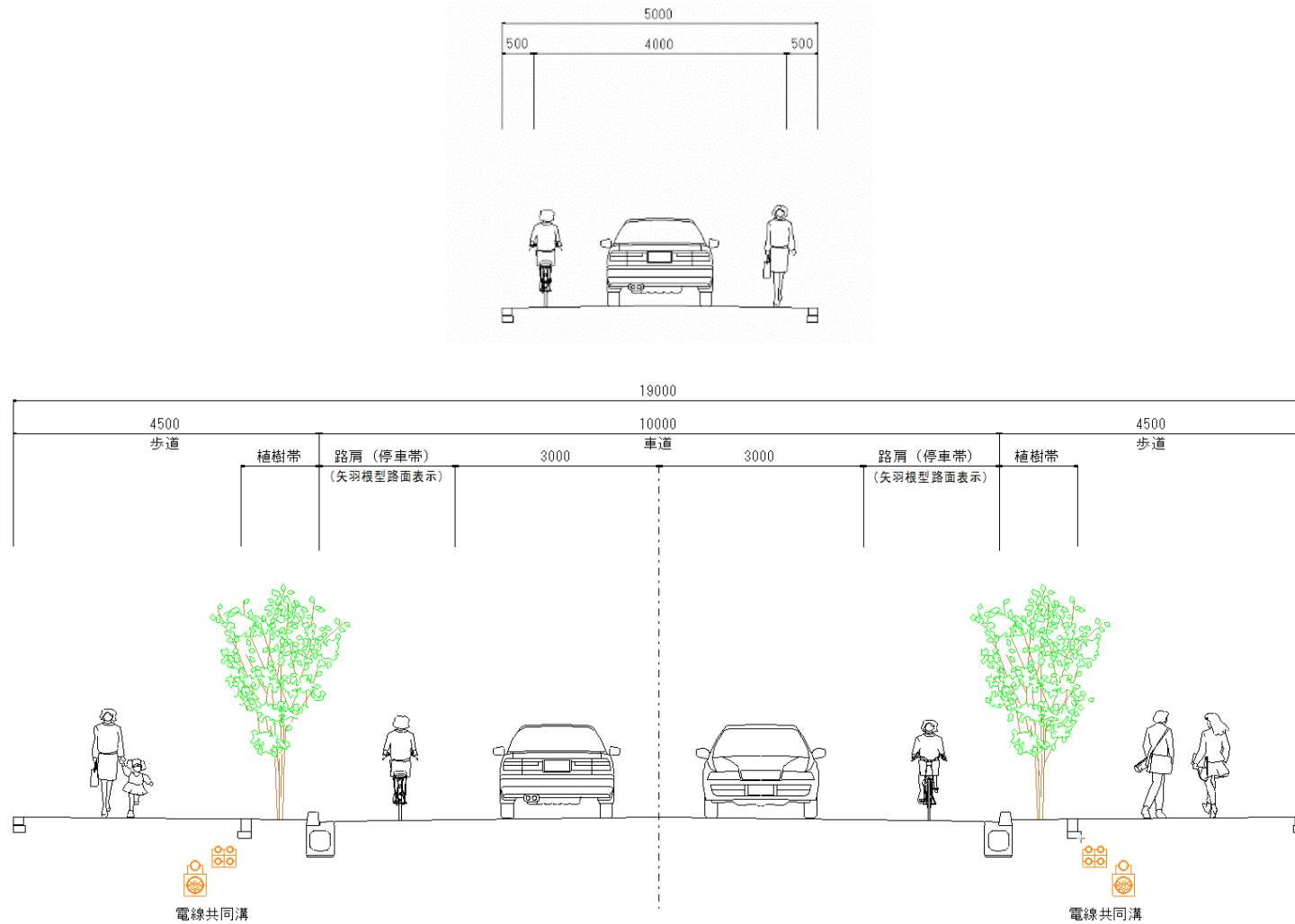


## 事業後



# 横断図

## 事業前



事業前写真



写真① 平成15年撮影



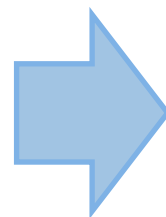
事業後写真



写真⑤ 令和5年撮影



写真② 平成19年撮影



写真⑥ 令和5年撮影

事業前写真



写真③ 平成15年撮影



事業後写真



写真⑦ 令和5年撮影



写真④ 平成22年撮影



写真⑧ 平成26年撮影



## 事業効果アピール資料①

### 通学路の安全確保（両側歩道整備・無電柱化整備）

事業前の既存道路は一方通行区間を含む非常に狭隘な道路であり、歩行者・自転車の通行にとって非常に危険な状況であった。

特に本区間は2つの小学校、1つの中学校の通学路として利用されているため、本事業による両側歩道の整備と電線共同溝による無電柱化整備により、児童をはじめとした歩行者・自転車の安全を確保することができた。



整備前の状況写真



周辺学校配置図



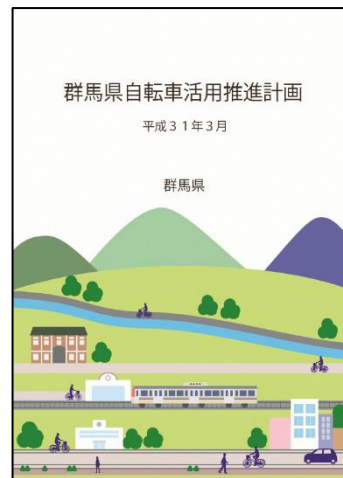
整備後の状況写真

## 事業効果アピール資料②

### 道路ネットワークの強化（道路拡幅・自転車ネットワーク整備）

本路線は前橋市の中心市街地の中でも官公庁エリアに近く、周辺道路を含めて朝夕の通行量が非常に多い状況である。

道路拡幅により交通の円滑化を図ると共に、「群馬県自転車活用推進計画」に基づく自転車ネットワークの整備（矢羽根型路面表示の設置）を行うことで、自転車の利便性を向上させることができた。



群馬県自転車活用推進計画



矢羽根型路面表示の状況写真

## 事業効果アピール資料③

## 道路空間の快適性の向上（無電柱化整備・植栽整備・橋梁架替等）

本路線の沿線には前橋公園、臨江閣など歴史的施設が複数存在し、路線の一部は風致地区に含まれている。また、本路線が横断する広瀬川は「水と緑と詩のまち前橋」を象徴する存在として、前橋市民や萩原朔太郎をはじめ多くの文化人から愛され続けてきた河川である。

道路改良に併せて無電柱化整備や植栽整備を行うことで景観に配慮した良質な道路空間を形成すると共に、橋梁や地下道の再整備においては既存の意匠を踏襲することで、市民が歴史を感じられる道路を整備することができた。



臨江閣（前橋公園）



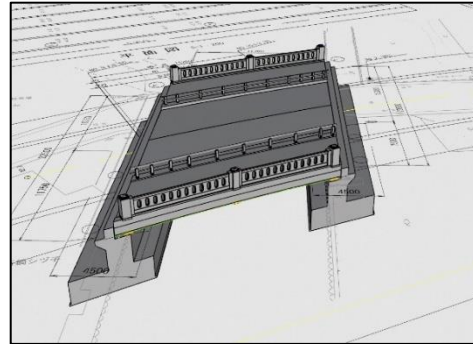
広瀬川に架かる石川橋

## 苦労や工夫等アピール資料①

### 3Dモデルによる新橋デザインの検討

石川橋の架け替え工事においては新橋の3Dモデルを作成し、新橋のデザイン検討やコントロールポイントの確認などを効率的に行った。

その結果、旧橋のデザインを踏襲しつつ全体的にバランスのとれた新橋を整備することができた。



図面（2次元データ）から3Dモデリング化



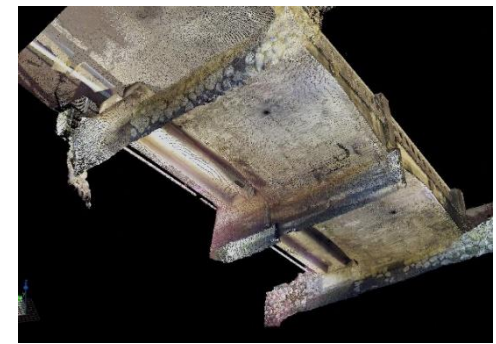
3Dモデルと点群データの重ねチェック

### 3次元レーザー計測による旧橋のデジタルアーカイブ化

旧橋は老朽化により取り壊しを行わざるを得ない状況であったが、100年以上前に施工された構造物の詳細な形状を記録するため、地上型レーザースキャナによる3次元レーザー計測を実施し、歴史的土木構造物としてデジタルアーカイブ化を行った。



旧石川橋の点群データ



下部視点の点群データ

## 苦労や工夫等アピール資料②

### 歴史的建造物の再利用・再活用

本事業により取り壊すこととなった地下道（通称めがね橋）と旧石川橋はいずれも大正時代に造られた歴史的建造物であった。

愛着のある市民も多く、再整備の際は材料の再利用や再活用などを行い、歴史的景観に配慮した。



めがね橋（修景石と玉石を再利用）



旧石川橋の高欄を移設保存

### 現場見学会の開催

橋梁工事に伴い現場見学会を複数回開催し、地元愛護団体（緑の少年団）や地域のまちづくり活動の会などに対して橋の歴史や橋梁工事の工法などについて説明した。



見学会の様子（緑の少年団）



見学会の様子（まちづくり活動）

## 受賞歴・報道資料

令和4年度 全建賞（インフラの部）受賞  
「都市計画道路県庁群大線 石川橋架替工事」

令和5年6月28日  
一般社団法人 全日本建設技術協会



## 受賞歴・報道資料

## &lt;報道資料&gt;

- ・ 2019年 3月22日 (21面) 「上毛新聞」にて掲載
- ・ 2019年 3月24日 (1面) 「上毛新聞」にて掲載
- ・ 2019年10月 4日 (20面) 「上毛新聞」にて掲載
- ・ 2020年 2月16日 (18面) 「上毛新聞」にて掲載
- ・ 2020年 8月 6日 (14面) 「上毛新聞」にて掲載
- ・ 2020年 8月23日 (1面) 「上毛新聞」にて掲載
- ・ 2020年 9月15日 (P. 8) 「広報まえばし」にて掲載